平成30年度

本別町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

令和元年9月

本別町教育委員会

(はじめに)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、点検評価に当たっては、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

このことから、本別町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について学識経験者の貴重な意見を踏まえながら、毎年度点検・評価を行っています。

今回は、「本別町総合教育大綱（平成27年度から平成32年度までの6カ年計画）」をはじめ、各種の教育関係計画及び平成30年度の教育行政執行方針に掲げた施策等について、実施状況や施策の課題、今後の方向性を整理するとともに、一年間における事務事業の管理及び執行並びに活動状況等を踏まえた評価を行い、報告書を作成いたしました。

本別町教育委員会といたしましては、次年度以降についても事務の管理及び執行状況等の点検・評価を行い、施策の効果の検証と改善を絶えず図りながら、引き続き教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、今後とも町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年9月

本別町教育委員会

※参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

◎教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告	1
1 教育委員会会議の開催状況	1
2 法規・規則等の制定及び改正状況	4
3 教育委員の活動状況	4
(1) 教育委員会関係事業	4
(2) 各学校関係各種事業	5
4 各種審議会・委員会等審議概況	6
5 教育費予算の状況	9
◎教育委員会活動実績自己点検・評価	11
《学識経験者の活用による意見・今後の方向性》	
6 主な施策の推進状況	14
◎主な施策の実績自己点検・評価	19
《学識経験者の活用による意見・今後の方向性》	

教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告

本別町教育委員会教育長（平成31年3月31日現在）

職 名	氏 名	職 業 等
教 育 長	佐々木 基 裕	

本別町教育委員会教育委員（平成31年3月31日現在）

職 名	氏 名	職 業 等
教 育 長 職 務 代 理 者	布 施 耕 一	農 業
教 育 委 員	鈴 木 清 志	獣 医 師（非常勤職員）
教 育 委 員	丑 若 理 恵	農 業
教 育 委 員	遠 山 倫 子	主 婦

1 教育委員会会議の開催状況

- ・ 定例会議 12回開催（うち3回を町内小中学校で開催）
- ・ 臨時会議 2回開催
- ・ 議案議決 37件

回 数	開 催 日	主 な 付 議 案 件 等
第1回 （臨1回）	4月2日 教育長室	議案第 1号 勇足地区学校運営協議会委員の委嘱について
第2回 （定1回）	4月27日 町体育館	議案第 2号 本別町総合教育研究所所員の委嘱について 議案第 3号 本別町学び輝く学校支援委員の委嘱について 報告・協議事項 （1）ほんべつ健康ウィーク2018について （2）つつじ祭り付帯事業「だがしや楽校」の開校について （3）町内小中学校の運動会・体育祭について （4）教育長動静報告
第3回 （定2回）	5月23日 仙美里小学校	議案第 4号 本別町中学生・高校生国際交流研修実施要領について 議案第 5号 本別町スポーツ推進委員の委嘱（補欠）について 議案第 6号 本別町スポーツ指導員の委嘱について 議案第 7号 本別町学校給食運営委員会委員の委嘱について 議案第 8号 平成30年度一般会計教育費6月補正予算見積りについて 報告・協議事項 （1）公用車両の交通事故に起因する和解及び損害賠償額を定めることについて （2）つつじ祭り付帯事業「だがしや楽校」について （3）町内小中学校の運動会・体育祭について （4）北海道市町村教育委員研修会について （5）教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第4回 (定3回)	6月22日 町体育館	<p>議案第9号 本別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価に関する規程に基づく学識経験者の委嘱について</p> <p>議案第10号 本別町特別支援教育連携会議委員及び専門委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第11号 本別町スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>議案第12号 平成30年度第12地区教科書採択地区調査委員会の委員の推薦について</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 全国学力・学習状況調査について</p> <p>(2) 働き方改革に伴う学校閉庁日の設定について</p> <p>(3) 国際交流研修について</p> <p>(4) 「本別高校の支援の輪を広げる町民の集い」の開催について</p> <p>(5) 「本別町明るい選挙推進協議会」推進委員の選出について</p> <p>(6) 北海道市町村教育委員研修会について</p> <p>(7) ほんべつ健康ウィーク2018について</p> <p>(8) 「7月15日展」について</p> <p>(9) 教育長動静報告</p>
第5回 (定4回)	7月19日 本別中学校	<p>議案第13号 平成30年度一般会計教育費8月補正予算見積りについて</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 教育次長・教育指導主幹学校訪問報告</p> <p>(2) 「本別高校の支援の輪を広げる町民の集い」の開催について</p> <p>(3) 教育長動静報告</p>
第6回 (定5回)	8月23日 町体育館	<p>議案第14号 平成29年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る報告について</p> <p>議案第15号 平成31年度に使用する小学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第16号 平成31年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第17号 平成31年度に使用する教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第18号 平成30年度一般会計教育費9月補正予算見積りについて</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について</p> <p>(2) 教育長動静報告</p>
第7回 (定6回)	9月26日 勇足小学校	<p>議案第19号 本別町文化賞審議会審議員の委嘱について</p> <p>議案第20号 本別町スポーツ賞審議会委員の委嘱について</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 本別町教育委員会の人事について</p> <p>(2) 全国学力・学習状況調査の結果報告について</p>

回数	開催日	主な付議案件等
		(3) 本別町いじめ防止基本方針の改定について (4) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について (5) ミッチェル訪問団出発式・帰町式について (6) 義経の里スポーツフェスティバルについて (7) 教育長動静報告
第8回 (定7回)	10月25日 中央公民館	議案第21号 平成30年度本別町スポーツ賞の決定について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について (2) 「食べて学ぶふるさと給食」「親子ふれあい給食」の実施について (3) 教育委員と社会教育委員の意見交流会等の実施について (4) 本のまち夢づくり講演会について (5) 教育長動静報告
第9回 (定8回)	11月26日 町体育館	議案第22号 平成30年度一般会計教育費12月補正予算見 積りについて (1) 十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会について (2) 町PTA連合会主催の町長と教育を語る会の開催につ いて (3) 教育次長・教育指導主幹学校訪問報告 (4) 「ほんべつ学びフェスタ2018」の開催について (5) 教育長動静報告
第10回 (定9回)	12月20日 町体育館	議案第23号 平成31年度一般会計教育費予算見積りにつ いて 報告・協議事項 (1) 市町村教育委員会新任委員研修会の報告について (2) 成人式の開催について (3) 教育次長・教育指導主幹学校訪問報告 (4) 教育長動静報告
第11回 (定10回)	1月25日 町体育館	議案第24号 平成31年度一般会計教育費1月補正予算見積 りについて 報告・協議事項 (1) 平成31年度教育行政執行方針について (2) 教育長動静報告
第12回 (定11回)	2月21日 町体育館	議案第25号 平成31年度教育行政執行方針について 議案第26号 平成30年度本別町教育功績者表彰の受賞者の 決定について 議案第27号 平成30年度本別町少年少女文化奨励賞、スポ ーツ奨励賞の受賞者の決定について 議案第28号 本別・仙美里地区学校運営協議会規則の制定に ついて 議案第29号 学校における働き方改革「本別町アクションプ ラン」の策定について 議案第30号 平成30年度一般会計教育費3月補正予算見積 りについて 報告・協議事項 (1) 平成31年度一般会計教育費予算調整結果について (2) 平成30年度学校林現況等の報告について

回数	開催日	主な付議案件等
		(3) 全国体力・運動能力・生活習慣結果報告について (4) 町内小中学校卒業式・入学式について (5) 教育長動静報告
第13回 (臨2回)	3月9日 中央公民館	議案第31号 校長・教頭人事の内申について
第14回 (定12回)	3月20日 町体育館	議案第32号 本別町教育委員会の人事について 議案第33号 本別町教育指導主幹の委嘱について 議案第34号 本別町教育相談員の委嘱について 議案第35号 本別町学び輝く学校支援員設置要綱の廃止について 議案第36号 本別町立小中学校薬剤師の解任について 議案第37号 本別町立小中学校薬剤師の委嘱について 報告・協議事項 (1) 学校訪問報告について (2) 教育長動静報告

2 法規・規則等の制定及び改正状況

(1) 教育委員会関係 規則の制定 1件 要綱の廃止 1件

項目	制定及び改正状況
条例等	規則の制定 ・本別・仙美里地区学校運営協議会規則の制定 要綱の廃止 ・本別町学び輝く学校支援員設置要綱の廃止

3 教育委員の活動状況

(1) 教育委員会関係事業 (計12日・延べ33人)

月日	事業名等	
平成30年 4月 5日	小中学校教職員等辞令式	委員3人
7月11・12日	北海道市町村教育委員研修会	委員2人
10月 3日	本別町教育研究大会	委員1人
11月 2日	本のまち夢づくり講演会	委員2人
11月 3日	本別町スポーツ賞授賞式	委員3人
11月20日	市町村教育委員会新任委員研修会	委員1人
11月22日	食べて学ぶふるさと給食・親子ふれあい給食	委員3人
11月28日	十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会	委員4人
12月 1日	ほんべつ学びフェスタ2018	委員4人
平成31年 1月13日	本別町成人のつどい	委員4人
3月 9日	教育功績者表彰、少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式	委員4人

(2) 各学校関係各種事業（計13日・延べ30人）

月 日	事 業 名 等	
平成30年 4月 9日	各小中学校入学式、本別高校入学式	委員4人
5月26日	本別中学校体育祭、勇足大運動会	委員2人
6月 2日	本別中央小学校運動会、仙美里小学校運動会	委員3人
8月 9日	第19次オーストラリア・ミッチェル訪問団結団式	委員4人
9月29日	本別中学校文化祭	委員2人
10月10日	第19次オーストラリア・ミッチェル訪問団出発式	委員2人
10月18日	第19次オーストラリア・ミッチェル訪問団帰着式	委員1人
10月28日	本別中央小学校学習発表会	委員2人
11月 4日	勇足中学校文化祭	委員1人
11月10日	仙美里小学校学習発表会、勇足小学校学習発表会	委員3人
平成31年 2月20日	本別・仙美里地区コミュニティ・スクール導入説明会	委員2人
3月15日	勇足中学校卒業式	委員1人
3月22日	各小学校卒業式	委員3人

4 各種審議会・委員会等審議概況

審議会名	審議案件等
(1) 本別町社会教育委員会	<p>第1回（平成30年5月9日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・十勝社会教育委員協議会理事会について ②協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第8次本別町社会教育中期計画検証・評価報告書について ・平成29年度社会教育事業報告について ・平成30年度事業計画について ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの経過について ・だがしや楽校の協力依頼について ・勇足地区コミュニティ・スクール構想について <p>第2回（平成30年8月31日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・事業等報告について ・今後の行事について ②全国社会教育研究大会等の参加について ③コミュニティ・スクールの進捗状況について ④協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ほんべつ学びの日フェスティバルについて ⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の欠員に伴う取扱いについて ・社会教育委員と教育委員との懇談会について ・働き方改革に伴うアクションプランについて <p>第3回（平成31年2月21日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会参加報告について ・教育委員との意見交流会について ・ほんべつ学びの日啓発イベント「ほんべつ学びフェスタ2018」について ・各担当の事業報告（9月～1月）と今後の事業計画（2月～3月）について ・新年度事業計画について ②協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の社会教育事業の振返りについて（熟議） ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員研修会（ふるさと交流研修）について ・社会教育委員の任期について
(2) 本別町スポーツ推進委員会	<p>第1回（平成30年7月5日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ推進委員について ②新年度事業計画について <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業実績と平成30年度スケジュール ・ほんべつ健康ウィークの総括について ・あかげら少年団の開催について

審 議 会 名	審 議 案 件 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・体力増進センター拡充について ・少年少女体育大会について ・義経の里スポーツフェスティバル（体育の日記念事業）の開催について ・北海道スポーツ推進委員協議会女性委員研修会について ・北海道スポーツ推進委員研究協議会（深川市）について ・十勝管内スポーツ推進委員研修会について ・先進地視察研修について <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員協議会について ・ほんべつ学びフェスタについて <p>第2回（平成30年9月7日）</p> <p>①事業総括について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかげら少年団について ・少年少女体育大会について <p>②今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかげら少年団について ・義経の里スポーツフェスティバルについて ・北海道スポーツ推進委員研究協議会について ・十勝管内スポーツ推進委員研修会について ・先進地視察研修について <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほんべつ学びフェスタ2018の開催について <p>第3回（平成30年12月17日）</p> <p>①事業総括について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかげら少年団について ・義経の里スポーツフェスティバルについて ・十勝スポーツ推進委員研修会について ・北海道スポーツ推進委員研究協議会について <p>②今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかげら少年団について <p>③検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2019」の実施について <p>④スポーツ施設運営・推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度予算関係 <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本別町成人学級「義経教室」ポッチャ指導について ・栄町自治会介護予防教室運動指導について ・教職員互助会事業ディスコン指導について ・ほんべつ学びフェスタ2018 体験ポッチャ開催について ・福寿クラブポッチャ指導について

審 議 会 名	審 議 案 件 等
	第4回（平成31年3月19日） ①事業総括について ・あかげら少年団について ②今後のスケジュールについて ・健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2019について ・あかげら少年団について ・少年少女体育大会について ③体育施設整備事業、スポーツ振興事業について
(3) 本別町スポーツ賞審議会	第1回（平成30年10月16日） ①委嘱状の交付 ②審議会委員長の互選 ③教育委員会からの諮問書の提出 ④平成30年度本別町スポーツ賞及びスポーツ奨励賞候補者について 候補者：スポーツ賞3個人 （功労の部2個人、優秀選手の部1個人） ※平成30年10月25日教育委員会へ答申 答申：スポーツ賞 3個人
(4) 本別町学校給食運営委員会	第1回（平成30年6月28日） ①委嘱状の交付 委員11名 ②学校給食共同調理場の概要説明

5 教育費予算の状況

(1) 教育費の予算

平成30年度の教育費の最終予算額（人件費等含む）は595,240千円となり、町一般会計予算総額7,008,907千円（前年度7,703,459千円）に占める割合は8.5%（前年度11.1%）となりました。

(2) 予算の概要（費目ごとの主な事業内容）

- ①教育総務費 140,297千円
 - 教育委員会費 教育委員報酬、学校医報酬、他
 - 事務局費 職員等人件費、事務局運営経費、教育指導主幹賃金、他
 - 教育研究所費 総合教育研究所運営経費
 - 諸費 教職員住宅購入年賦金、本別高校の教育を考える会補助金、学校教育振興会補助金、国際交流研修オーストラリア・ミッチェル訪問費、小学生小松島市交流研修補助金、他

- ②小学校費 123,596千円
 - 学校管理費 職員等人件費、公務補賃金、特別支援教育支援員賃金、学校管理運営費、スクールバス運行委託料、他
 - 教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性溢れる学校活動費補助金、就学援助費、他
 - 学校建設費 小学校煙突工事費（繰越明許費により平成30年度に実施）

- ③中学校費 76,653千円
 - 学校管理費 公務補賃金、特別支援教育支援員賃金、学校運営費、他
 - 教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性あふれる学校活動費補助金、中体連・中文連参加出場費補助金、就学援助費、他
 - 学校建設費 中学校煙突工事費（繰越明許費により平成30年度に実施）

- ④社会教育費 92,547千円
 - 社会教育総務費 職員等人件費、社会教育委員等報酬、各種講座及び研修等運営経費、学校支援地域本部事業費、PTA連合会補助金、駒おどり保存会補助金、本別義経太鼓保存会補助金、各種芸術文化大会補助金、他
 - 公民館費 職員等人件費、公民館管理運営費、各種文化振興事業費、文化協会補助金、公民館活動推進費補助金、芸術文化事業振興会補助金、他
 - 図書館費 職員等人件費、図書館管理運営費、施設改修工事費、図書購入費、ファーストブック事業費、本のまち夢づくり講演会（永田 萌氏）費、学校図書室支援事業費、他
 - 資料館費 歴史民俗資料館管理運営費、施設修繕費、学校連携体験学習費、「7月15日本別空襲を伝える」等企画展費、他

- ⑤保健体育費 162,147千円
- 保健体育総務費 職員等人件費、スポーツ推進委員報酬、体育館管理運営費、他
 - スポーツ振興費 職員等人件費、各体育施設管理運営費、義経の里スポーツフェスティバル開催経費、ほんべつ健康ウィーク開催経費、各体育施設備品購入費、体育協会補助金、各種スポーツ大会補助金、他
 - 体育施設費 本別町体育館玄関屋根庇改修工事費
 - 学校給食費 職員等人件費、学校給食共同調理場運営費、他

10款 教育費（歳出予算）

（単位：千円）

1項 教育総務費	140,297	4項 社会教育費	92,547
1目 教育委員会費	2,727	1目 社会教育総務費	23,221
2目 事務局費	94,674	2目 公民館費	41,135
3目 教育研究所費	244	3目 図書館費	24,265
4目 諸費	42,652	4目 資料館費	3,926
2項 小学校費	123,596	5項 保健体育費	162,147
1目 学校管理費	93,793	1目 保健体育総務費	25,791
2目 教育振興費	7,392	2目 スポーツ振興費	40,683
3目 学校建設費	22,411	3目 体育施設費	1,642
3項 中学校費	76,653	4目 学校給食費	94,031
1目 学校管理費	39,801		
2目 教育振興費	8,645		
3目 学校建設費	28,207		
予 算 合 計		595,240	

《 教育委員会活動実績 自己点検・評価 》

1 教育委員会会議の効果的・効率的運用

教育委員会会議は、定例開催が12回、臨時開催が2回の計14回開催しました。

教育委員会会議の開催にあっては、教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育委員活動の活発化と円滑な会議運営を図るため、教育委員会事務局がある町体育館のほか、授業参観を兼ねて小中学校で計3回開催いたしました。

一般会計教育費の予算編成時においては、教育委員の意見を積極的に反映すべく、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議・審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。

教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

2 教育課題への対応

各学校が抱える教育課題の対応については、年度当初に各学校長から学校運営・経営方針等についての説明を受けるとともに、教育委員の思いや意見などを学校運営に反映させるべき意見交換等を行っています。また、授業参観や学校行事等へも積極的に参加するなどして、教育委員の意見が学校運営に活かされるよう注視しながら、それぞれのニーズに沿った教育行政の推進に努めてきました。

また、学校を核として地域全体で子どもたちの学びを育むため、保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールについては、平成30年度に勇足地区を先行して導入し、本別・仙美里地区においても平成31年度のコミュニティ・スクールの本格導入に向けて、引き続き、準備・調査を進めます。

確かな学力の向上については、学校が取り組む指導方法の工夫・改善に向けた方策等を支援するとともに、学校における学校改善プランの見直しや家庭学習の定着化を図るための取り組みも支援しています。また、本別中央小学校に町派遣教員を配置し基礎学力の平準化をめざし、きめ細かな指導を行っています。

国際理解教育の推進については、学びの主軸のひとつである英語において、学習指導要領の改訂により、小学校で外国語の英語が高学年において教科化され、授業時数も増加することから移行措置として授業時数を確保し、「英語教育」の充実を図るため新たに英語教諭を任用し、義務教育や生涯学習など英語指導の充実に努めています。小学校3・4年生および中学校全学年には、英語指導助手（ALT）2名を引き続き配置し、英語に慣れ親しみながら実践的コミュニケーション能力育成の学習サポートに努めました。平成30年度は、国際姉妹都市のオーストラリア・ミッチェルに中・高校生10名を派遣し、ホームステイによる生活習慣や交流研修などを通して交流を深め、有意義な研修となりました。

いじめ・不登校に対する取組みとして年2回児童生徒にアンケートを実施し、状況の把握をしています。また、校外生活に対する指導については、各中学校にスクールカウンセラーを配置するなど、きめ細かな指導に努めています。

学習指導要領のねらいや社会の要請等を踏まえ、教職員が授業や授業準備に集中し、健康でやりがいを持ち、児童・生徒の指導を充実したものにするため、学校における働き方改革を進める「本別町アクション・プラン」を平成31年2月に策定しました。

3 教育委員会事務局との連携

教育を取り巻く社会環境は、急速な少子高齢化による社会活力の低下や人口減少など、社会情勢を反映して行く先が不透明な厳しい状況にあります。時代の変化に対応した教育施策を展開するため、教育委員会事務局と連携を図りながら、27年度に策定しました「本別町総合教育大綱」の方針に基づいた施策を確実に実践するよう努めています。

今回初めて、教育委員と社会教育委員が交流する機会を設定して、本別町における「教育活動や交流活動について」、「次代を担う子どもたちをどう育てていくべきと考えるか」をテーマにした意見交流を行いました。今後の姿として、学校教育と社会教育とが融合し、密接な連携・協力のもと一体となって取り組むことの重要性について再確認する機会となりました。

4 その他

教育委員会の活動状況や教育行政全般における施策等を広く町民の皆さんにお知らせするため町広報紙の紙面を活用し「活動状況点検・評価報告書」を掲載しました。

《 学識経験者からのご意見 》

教育委員会会議は、年間14回の開催で、毎月の定例開催を確保しつつ37件の議案を議決するなど、教育行政執行機関としての役割を果たすとともに、適正な運営が図られています。教育委員の活動についても、学校教育現場への訪問や各種事業等に積極的に参加し、関係機関や保護者、地域住民のニーズを把握する中で、教育委員会事務局と連携しながら適切な教育行政を執行しています。

教育行政の推進については、平成27年度からの新たな教育行政制度の下で教育行政が執行されていますが、今後とも「政治的中立性の確保、継続性、安定性の確保」等を基本理念として、教育行政を執行されるよう期待します。

「ほんべつ学びフェスタ」の取り組みについては、少子化等により来場者が減少傾向にある中で、だがしや楽校などの子どもたちの体験型の内容に組み込み、改善を図ってきておりますが、今後もその理念と「四つの風」の普及推進に努められたい。

いじめ・不登校に対する取り組みについては、児童生徒へのアンケートの実施や学校訪問などにより、日頃の児童生徒の状況把握に学校と連携を図り対応してきておりますが、今後もきめ細かな対応と継続した取り組みをお願いします。

スポーツ振興については、各種事業を展開していますが指導者の高齢化と担い手不足が課題であり、新たな指導者の発掘と、事業内容についても検討すべきと考えます。また、学校における働き方改革を進める「本別町アクション・プラン」の実施と目標実現に向けて、コミュニティ・スクールの活用による学校への応援・支援体制づくりに期待します。今後においても、教育委員会の活動が、広く町民の皆さんに理解されるよう情報発信に努め、教育行政の更なる充実・発展を期待します。

《 今後の方向性 》

教育を取りまく社会環境が変動する中、子どもたちが主体的に人生を切り拓いていくことができる「生きる力」を確実に身に付けさせることが重要になりますが、本町教育委員会では、教育委員会の重要性と教育委員の役割についての認識を高めながら、教育委員会の充実と一層の活性化を図り、町民が生涯を通じて潤いのある生活を送るために、地域や関係機関、団体等との連携を更に密にし、効果的な教育施策を展開する必要があります。この基本的な考え方を踏まえ、教育委員会会議の一層の活性化を図りながら、町民の皆さんに信頼される教育行政を執行してまいります。

教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保については、中立公正が極めて重要なことから従前からの合議制を堅持しつつ、一貫した方針の下で執行機関のチェック機能を高めるとともに、広く地域住民の意向を反映した取り組みを推進してまいります。

地域全体で学びを支援する取り組みについては、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた取り組みを全町的に進めてまいります。

社会教育については、町民の皆さまが芸術や文化、スポーツに親しみ、心豊かな暮らしとなるよう、指導者の発掘や人材育成を含め効果的な施策を進めてまいります。

本町ならではの取り組みである「ほんべつ学びの日」の取り組みについては、「ほんべつ学びフェスタ」を通して学びへの関心を高めるとともに、家庭・学校・地域と連携して4つの風「光風・祈風・夢風・実風」事業を展開してまいります。

教育委員会の活動状況や教育行政の施策等を、町広報紙を活用して「活動状況点検・評価報告書」を掲載するなどして、町民の皆さんに広く情報提供してまいります。

6 主な施策の推進状況

「ほんべつ学びの日」宣言

平成19年9月11日に宣言した「ほんべつ学びの日」は、未来を担う子どもたちの教育を家庭・学校・地域が手を携えて推進するため、「北海道教育の日」及び「十勝教育の日」の趣旨を踏まえ、本別町ならでの「ほんべつ学びの日」としたものです。

この学びを「光風・祈風・夢風・実風」の四つの風にたとえて具体的な事業を展開しています。各種事業の推進に当たっては、教育委員会、校長会、教頭会の各教育関係機関・団体等と連携しながら取り組んでいます。

平成30年度は、12月1日に中央公民館で啓発事業である「ほんべつ学びフェスタ2018」を「まちの中に四つの風を吹き渡らせよう」をサブテーマに実施しました。成果の発表と参加型イベントを中心に来場者を掘り起こすことが出来ました。また、11月2日には、絵本作家・イラストレーターの「永田萌氏」を講師に迎え、学びの日夢風事業として「本のまち夢づくり講演会」を開催しました。

(1) 管理課総務担当

① 教育環境の整備

地域住民等と連携した登下校時の安全確保やパトロールの実施し、児童生徒の安全対策に取り組んできました。また、スクールバスの計画的な更新や営繕に努めるとともに、部活動等に配慮した運行時刻・路線を確保するなど、児童生徒の通学環境の充実と安全運行に努めています。

教育施設では、勇足小学校・仙美里小学校・本別中学校・勇足中学校のアスベスト対策に伴う煙突改修工事が完了しました。

② 本別高等学校への支援策

本別高等学校への支援活動については、本別高等学校及び本別高校の教育を考える会等と連携を図りながら、魅力ある学校づくりのための各種支援策を実施するとともに、町内中学校や近隣中学校、帯広市内中学校にも訪問するなど、生徒及びその保護者に本別高校をアピールし入学者の確保に努めましたが、平成31年度入学生は36名に止まり、地元の入学者は、昨年度の19名から7名増の26名で、進学率も40%から53%と増加を見たものの、4年つづきの2間口確保には至りませんでした。

少子化が進む中、生徒が希望する進路先の多様化等により入学生の確保が大変厳しい状況にはありますが、伝統ある本別高等学校を存続させるために、各関係機関・団体等と連携して2間口確保に向けた取り組みをさらに強化してまいります。

③ 国際交流研修及び小松島交流

国際交流研修については、中・高校生10名（引率者を除く）が英会話やオーストラリアの文化について事前研修を行い、10月10日から18日までの9日間の日程で国際姉妹都市オーストラリア・ミッチェルを訪問し、ホームステイ等の体験を通じて生活習慣や交流研修・学校訪問などで交流を行い国際的な視野を広め、帰町後の「ほんべつ学びフェスタ」において保護者や多くの町民の方々に体験報告を行いました。

友好都市小松島市の立江小学校との交流研修については、勇足小学校の5・6年生の児童15人（引率者を除く）が立江小学校を訪問し、児童や地域の人たちと交流を深めました。

(2) 管理課学校教育担当

① 学校教育

学校教育では、「確かな学力」に支えられた「生きる力」を育成することが重要であることから、「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の三位一体による教育の充実を図り、学校や家庭、地域の協力を得ながら、子どもたちが社会に出てからも自らの人生を生きていく上で必要な「生きる力」が身につくよう取り組んできました。

「確かな学力」の育成では、学力向上を図る学校改善プランの見直しや長期休業中の学習サポートの実施など、各学校の実情に応じた取組みを進めているほか、「本別町学力向上支援委員会」が各学校で取り組む具体策を検証し支援しています。

国際理解教育の推進では、管内在住の外国人を指導助手として町内各中学校に配置し、生徒の実践的な英語によるコミュニケーション能力の育成に努めており、小学校では総合的な学習の時間や外国語授業を活用し、中学校と同様に外国人の指導助手と日本人スタッフによる「英語に慣れ親しむ事業」により、国際社会の将来を見据えた国際理解教育の推進に努めています。

29年度より小学校低学年を対象として英語教室「放課後イングリッシュ」を取り入れ「聞く、話す」に慣れてもらうよう各小学校で3回実施しました。

学校を核として地域全体で子どもたちの学びを育むため、文部科学省の事業指定を受け、保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールの立ち上げを目指すため、平成28年度より勇足中学校区を先行して研修と熟議を重ね、平成30年度に勇足地区学校運営協議会を設置いたしました。本別・仙美里地区においても平成29年度から本別中学校区を平成31年度のコミュニティ・スクール本格導入に向け準備・調査を進めました。導入後の推進には地域の理解力を促すことが重要であり、将来の政策的視点での発展を考え社会教育へシフトをしていくため、平成30年度より学校教育担当と社会教育担当がチーム方式で推進をしています。

② 特別支援教育

特別支援教育では、障がいの程度に応じた指導を行う特別支援学級の児童生徒のほか、普通学級に在籍する発達障がい等のある児童生徒に対しても、それぞれの教育的ニーズにあった支援を行うため、特別支援教育支援員を小中学校に配置し、教科授業時間のほか学校生活に必要な様々な面でサポートをしています。

また、生まれてから生涯を閉じるまで一貫した支援を継続するため、町福祉部局と連携して「個別の教育支援計画」を策定し、学校における「個別指導計画」と連動させて更なる特別支援教育の充実に取り組んでいます。

③ 生徒指導及び健康・安全指導

生徒指導については、春の交通安全教室やすきやき隊による通学時の見守り活動をはじめ、町内の関係団体で構成する「子どもを育む環境づくり推進会議」では9月を『みんなで“おはよう”のあいさつ運動月間』とし、多くのボランティアの皆さんの協力を得ながらあいさつ運動と交通安全指導などを実施しています。生活指導連絡協議会においても、具体的に実効性のある対応などを協議しながら本町の児童生徒の健全育成に努めています。

不登校やいじめ対応については、教育委員会事務局員による学校訪問、中学校に配置しているスクールカウンセラー等を活用して、問題解決にあたっているほか、24時間体制の相談電話も開設しています。

(3) 社会教育課社会教育担当

① 第8次社会教育中期計画の推進

町民が心豊かに生涯にわたり自己実現が図れるよう、各種学習機会の提供や明るいまちづくりを目指すため、第8次本別町社会教育中期計画(平成29年度～33年度)を平成29年にスタートさせ2年目となりました。第6次本別町総合計画や本別町教育大綱との整合性を図りながら、教育を通じた「人づくり」や「町づくり」を視点に事業を推進し、今日の複雑化・多様化した社会形態を察知し、学習機会と学習ニーズを見極めながら事業展開してきました。

② 通学合宿「ほんべつ元気学宿」

5泊6日の生活体験を通じ、子どもたちの自立心や社会性を培う目的で地域の人たちや中高生ボランティア、教育大学釧路校の大学生などの協力を得て、16回目の「元気学宿」を実施し、小学校3年生から6年生の12名が参加し、地域の方のお風呂を借りる「もらい湯」を復活させ、地域の方々との交流から感謝の心を育てる取り組みとなり、大人も子どもと共に学び合う機会を提供しました。

③ 本別・南三陸ふるさと交流研修会(ジュニアリーダー養成事業)

毎年8月と3月に実施している本別・南三陸ふるさと交流研修会は、本年度においても第34年次の交流研修会として、夏には本別町の子どもたち11名が南三陸町を訪れ、冬には南三陸町の子どもたち5名を受入れ、研修を通じ、子どもたちの熱き友情と両町の絆をさらに深め、ジュニアリーダーの育成に繋げることができました。

④ ほんべつ学(地域学習)

地域の個性、文化、歴史、自然を子どもたちに伝え、大人も含め本別町の魅力再発見と、ふるさと本別の良さを実感できる「ほんべつ学」講座を平成26年度に開設し、5年目となる本年度は、「神居山探検」、「道の駅ステラ★ほんべつを知ろう」をテーマとして夏と冬の2回開催しました。

⑤ 義経教室(高齢者学級)・成人講座

高齢者に生きがいのある日常生活を送っていただくために、健康の維持・増進をはじめとした総合的な学習の場を提供する「義経教室」を、仙美里・勇足・本別の3地区で開催しており、約74名の方々が各種講座を受講されています。本年度は、健康、行政相談、空き家対策に係わる講話や、移動講座(白糠町、阿寒町)、町議会傍聴、自宅でツボ押し健康法など8講座を開設し、延べ312名の参加をいただきました。

⑥ 本別町民文芸沖積土

多くの皆さんからの寄稿と編集委員の皆さんの努力に支えられてきた沖積土は、第49号を迎え、次年度には第50号となることから、2年間「戦争」を特集テーマに設定し、戦争体験者からの聴き取りを進めつつ、体験の有無にかかわらず戦争に対する思いを収録することとしています。第49号は22編の寄稿をいただき、その他にはエッセーや短歌等を含め全51編の寄稿をいただき、発刊いたしました。

(4) 社会教育課文化振興担当

① 芸術文化活動

多くの町民の皆さんに芸術文化への関心を高めていただき、創造的な芸術文化活動を推進するため、町芸術文化事業振興会と協働して開催した「和太鼓松村組本別公演」には470名以上、「トリコロール コンサート in 本別」には230名以上の来場がありました。また、町文化協会との協働による吹奏楽合同演奏会、音楽祭、文化祭芸能発表会、舞踊と民謡の祭典を開催し、延べ1,220名が来場されました。また、陶芸や絵画、写真や書道、手芸作品などの公民館ロビー展を16回開催し、町民の文化活動発表の場と芸術文化に触れる機会の充実に努めてまいりました。また、「本別町文化協会ガイド」を更新し、町ホームページへの掲載や公共施設にポスターを掲示するなどしたほか、舞台活動の活性化を図るため「中央公民館文化活動推進事業」を5回開催し、町民の文化活動への関心を高めるための取り組みを継続しております。

公民館講座は、成人を対象とした「きらめき講座」「太極拳講座」を開催したほか、ものづくりなどの体験を通して子どもたちに豊かな感性を育てていただくため「子ども体験教室」を4回開催しました。また、英語教育を推進するため12月に社会人英会話『気軽に楽しく英会話（入門）』を2回開催しております。

② 公民館施設の維持・管理等

本年度は、中央公民館においては、大ホールの椅子と視聴覚室のテーブルを更新しています。修繕は中央公民館の非常用照明設備や仙美里地区公民館合併浄化槽の浸透枡の修繕などを行っています。また、各施設の延命と利便性を考慮した施設整備に努めています。

(5) 社会教育課スポーツ担当

① スポーツの振興・啓発

町民が心身ともに健康で充実した生活を送ることができるように、それぞれの世代に応じて気軽に参加できる各種スポーツ活動を実施しています。

今年度も健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク」を5月28日（月）～6月3日（日）に実施し、一週間で誰もが気軽に参加しやすくスポーツや運動に取り組む活動強化週間として、社会体育施設を無料としたほか、主催事業としてラジオ体操やディスコン大会、太陽の丘パークゴルフ大会等を開催し、体育団体等の協力のもと共催事業として運動教室や体験教室などを実施するなど、住民の健康づくりやスポーツの振興、地域の活性化と町民皆スポーツのきっかけづくりに取り組み、各種事業では685人が参加し、期間中に2,183人の方々が社会体育施設を利用されました。

また、子どもたちを対象とした「あかげら少年団活動」や「義経の里スポーツフェスティバル」の開催、町民の健康と体力づくりを実践する「健康運動講習会」など、各種スポーツ団体と連携してスポーツの普及、拡大に取り組みました。「第6回義経の里スポーツフェスティバル」は河川運動公園芝生広場で開催し、従前からの「自然・史跡巡りウォーキング」「ゲームラリー」や「各種コーナー」「お楽しみ抽選会」のほか、食育コーナーで黒豆うどんの提供、特に「強歩・マラソン大会」については、本別・仙美里地区コミュニティ・スクール推進委員会と共同開催しました。また、競技性のあるスポーツとして、小学生に人気の「キックベースボール」を実施するなど開催内容の充実を図り、スポーツを通じた健康づくりのきっかけとして取り組みました。

スポーツ施設整備では、利用者の寄付により体力増進センターの卓球台を3台購入し、施設器具の充実を図りました。

(6) 図書館・資料館

① 図書館事業

図書館では、「ことばと心を育てる事業」として、胎教からの読み聞かせの大切さを伝え赤ちゃんを心豊かに育てる「ファーストブック事業」、絵本作家・イラストレーターの「永田萌」氏を招き、「夢見るチカラ」をテーマに一般町民対象の「本のまち夢づくり講演会」を実施しました。また、学校図書室及び保育所・認定こども園、学童保育所等との連携強化、としょかんこどもまつりの開催など、ボランティアとの協働による子どもの読書環境の向上を図り、児童生徒の国語力・表現力の向上や学習意欲を高める取り組みにも努めています。

② 資料館事業

資料館では、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える企画展「7月15日本別空襲を伝える」が20回目の開催となり、これまでの取り組みを振り返り、空襲被害から立ち上がった本別町のあゆみとともに、平和の大切さを未来へつなぎ伝えるため、「つなごう平和への願い」をテーマとして展示しました。

また、各学校と連携し、ボランティアの協力による平和教育を進めているところです。

また、北海道命名150年及びその名づけ親である松浦武四郎の生誕200年にあたり、「北海道150年展～ふるさとをたどる～」を開催し、武四郎が残した貴重な資料である十勝毎日新聞社所有の「北海道国郡検討図」の拡大レプリカを展示するとともに、本町の開拓に関する資料も紹介し、ふるさとの身近な歴史に触れる機会としました。

(7) 学校給食運営事業

① 安全・安心な学校給食の提供、並びに食育活動の推進

学校給食は、児童生徒の健康保持に大きく寄与していますが、健全な食生活を営むことができる判断力や望ましい食習慣を身に付けていただくため、栄養教諭による食育指導を本別中央小学校で週2回行うとともに、平成28年度からは勇足小学校や仙美里小学校への学校訪問を実施するなどして、食育指導の充実を図ってきています。また、町内の農業生産者を訪問し、「安全で安心」な食材が生産から給食に提供されるまでを児童生徒に紹介するとともに、給食調理場の職員自らが生産現場を理解し、食育活動に繋げる取り組みも行っているほか、地元産食材の使用率向上のための協議も各団体と進めています。

毎月発行している「給食だより・献立表」については、新メニューや行事食の紹介、食育目標のポイント、地元産野菜の紹介などを掲載し、町ホームページにも載せながら食育の推進を図っています。11月には「食べて学ぶふるさと給食」や「親子ふれあい給食」を企画し、生産者の方にも各小学校にお越しいただき、親子で地場農畜産物や地元加工食品の認識や理解を深めてもらう取り組みも行っています。更に、PTA保護者等による試食会を実施して意見をいただくなど、子どもたちに美味しく喜ばれる学校給食の提供に努めています。

平成26年4月から供用を開始した新学校給食共同調理場では、各小中学校のみならず、へき地保育所（勇足・仙美里）にも給食を提供しているほか、本別高等学校の生徒も99.0%が給食を利用しています。また、アレルギー食調理室では、小中学校で13名の児童生徒に約20種類の除去品目を中心としたアレルギー対応食を提供しています。

《 主な施策の実績 自己点検・評価 》

教育委員会では、平成19年9月11日に「ほんべつ学びの日」を宣言し、子どもたちの健全な精神と豊かな心を育む「光風・祈風・夢風・実風」の四つの風事業を柱に、大人と子どもと一緒に日々学ぶ取り組みを進めています。本年度も9月を「学びの日月間」として全町挙げてのあいさつ運動を取り組むとともに、12月には「ほんべつ学びフェスタ」を開催し、広く町民の皆さんに学びの日の趣旨と理念の普及啓発を行っておりますが、更なる普及に向け啓発方法の工夫改善を図る必要があります。

学校教育の推進につきましては、全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた学校改善プランの見直しと実践、確かな学力の向上を図るための授業改善、家庭学習習慣の定着化、特色ある教育課程の編成、小中連携による放課後学習の実施等に努めています。また、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」は、平成30年度に勇足地区を先行導入し、本別・仙美里地区は平成31年度の導入に向けた準備・調査を進めています。国際理解教育の推進につきましては、小学校低学年を対象として英語教室「放課後イングリッシュ」を取り入れ「聞く、話す」に慣れてもらうよう各小学校で3回実施しました。

教育環境の整備につきましては、老朽化した学校施設について修繕を行い、児童生徒が学べる環境づくりと安全で快適な環境づくりに努めています。

本別高校への支援につきましては、本別高校の教育を考える会と連携し、通学費補助や新入学生の制服購入助成、学力向上対策として模擬試験受験料や資格取得検定料の助成などの支援を行い、魅力ある本別高等学校を積極的にPRしてきたところですが、平成31年度入学生が1学級に止まったことから、魅力ある学校づくりのための支援など、今後における本別高校存続させるための支援の在り方等について、その方向性を見出していく必要があります。

学校給食につきましては、安全で安心な地元産食材の使用率を向上させるとともにアレルギー対応食も提供するなど、町民のニーズに沿った取り組みを進めています。

社会教育の推進については、まちの魅力を再発見し郷土愛を育む「ほんべつ学」を継続するとともに、通学合宿の「ほんべつ元気学宿」、少年リーダー育成事業、義経教室（高齢者学級）等を継続開催するなど、家庭・地域・各関係機関や団体と連携を密に、誰もが気軽に学べる環境づくりを推進するとともに、教育を通じた「人づくり」や「町づくり」を視点に事業を展開しています。

芸術文化の振興につきましては、文化祭をはじめとした各種舞台発表やロビー展の開催など、文化団体やサークル等と連携し、自主的な文化活動に対する支援と、我が国の歴史と伝統から生まれ守り伝えられてきた伝統文化の継承活動に努めています。

図書館では、赤ちゃんを心豊かに育てるための「ファーストブック事業」、講演会などの児童生徒の国語力・表現力向上や学習意欲を高める取り組み、あらゆる世代の読書環境向上を図る事業を実施しました。

資料館では、企画展「7月15日本別空襲を伝える」を開催し、戦争の事実と命の大切さを後世に伝えるとともに、歴史や文化、平和を通して子どもから大人までがふるさと本別の理解を深める多様な事業を展開しています。

スポーツ振興については、2回目となった健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2018」に取組み、期間中の体育施設を無料開放するとともに、教育委員会の主催事業とスポーツ団体等と連携した運動体験教室、義経教室などの機会を利用した軽スポーツの普及、子どもたちへのスポーツ活動支援など誰もがスポーツや運動に触れ、健康づくりに親しむきっかけづくりに努めました。

《 学識経験者からのご意見 》

教育委員会事務局の各担当が進める重点施策について、本町の実情に応じた教育、文化及び、スポーツの振興を図るため各種事業全般にわたり、しっかりとした取り組みがなされています。しかしながら、人口減少にともない、7千人を切る状況の中で、2年後の「開町120周年」をふくめ、今後を見据えた、新たな取り組みが必要であると考えられることから、社会教育の各種事業について、全体的に事業の見直しを図っていくことが重要であり、教育委員会として今から計画・準備が必要と考えます。また、平成から令和になった今だからこそ、過去と現在の街並みの変化など、写真や映像に残していく「振り返りの事業」に取り組むことを考えてはと思います。

地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールの導入は、とても良い取り組みではあると思いますが、地域のさまざまな行事におけるコミュニティ・スクールとしての関わり方についても今後検討され、うまく機能した活用となるように期待するところです。

多くの町民の皆さんに芸術文化への関心を高め、心を豊かにする活動として芸術文化活動があり、日頃、聴くことが出来ないプロの生演奏などは、町民にとって本当に良い取り組みであると感じています。今後の更なる芸術文化活動の充実に努められるように期待します。

今後も、全ての担当部局において、町民のニーズを的確に捉え、事業の再編成等、費用対効果を十分に検証しながら各種事業を推進されるよう期待します。

《 今後の方向性 》

学校教育事業につきましては、児童生徒一人一人が「生きる力」を身に付けることができるよう、全国学力・学習状況調査及び、全国体力調査等の結果を分析し、確かな学力と体力の向上を図るための授業改善に努めるとともに、今後とも、チーム・ティーチングによるきめ細かな指導の充実を努めてまいります。

コミュニティ・スクールについては、平成31年度に本別・仙美里地区において本格導入するとともに、先行導入の勇足地区と合わせた全町的なコミュニティ・スクール委員会を設置し、両協議会の円滑な活動のために情報の共有と各委員の資質の向上を目指します。

学びの軸に位置付けしている英語は、なれ親しむ授業など、幼少期から義務教育、生涯学習を含め、誰もが気軽に参加できる英語学習の場を継続して提供していきます。

本別高校への支援活動については、魅力ある本別高校のPRに努め、本別高校の教育を考える会を通して新たな支援策を検討・検証するとともに、関係機関と連携し、その方向性を見出していきます。

社会教育事業については、平成29年3月に策定した「第8次社会教育中期計画」に基づき、家庭・地域・関係機関や団体との連携を密にしながら推進していきます。また、文化振興については、今後も、町民の皆さんに優れた芸術・伝統文化に触れる機会を関係団体と連携しながら提供してまいります。

少子高齢化が進み、社会情勢が激しい昨今ではありますが、平成27年度に策定した「本別町総合教育大綱」を基本に、教育環境の整備充実と「家庭・学校・地域」の繋がりを更に深め、教育行政の適切な執行と推進に努めてまいります。

ほんべつ学びの日宣言

子どもたちは今、100年を越える歴史と恵まれた自然の中で明るく元気に成長しています。

しかし、揺れ動く社会の中であって、私たちには子どもたちが将来に向かって大きな夢を抱き、自己の力を十分に発揮できる環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶことが大切です。

私たち町民一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、子どもたちとともに学びへの関心を高め、ふれあい・豊かな心をはぐくむまちづくりを推進するため、ここに「ほんべつ学びの日」を宣言します。

- 1 みんなの力で、明るく元気な子どもをはぐくみましょう
- 1 郷土や家族を愛し、平和を祈り、命を大切にすることをはぐくみましょう
- 1 将来に夢を持ち、目標に向かってチャレンジする心をはぐくみましょう
- 1 食に感謝し、スポーツに親しんで健康な身体をつくりましょう

平成19年9月11日制定

本別町教育委員会

本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る学識経験者の活用

学識経験者

経 験 歴	氏 名
元教育委員	我 妻 勇 次
元教育委員会職員（元町職員）	安 藤 修 一
子ども・子育て会議会長	田 西 昭 子
元本別町PTA連合会会長	西 山 誠